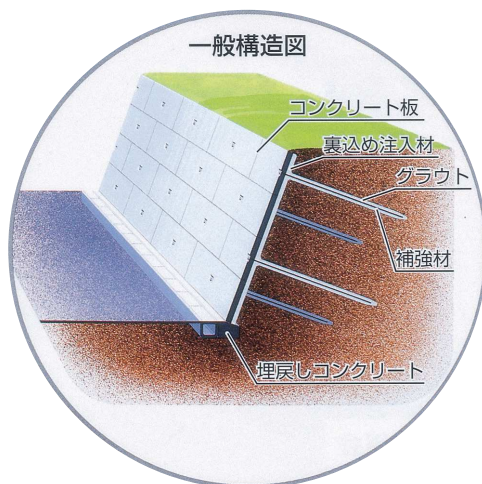


PAN WALL 工法



新しい急勾配斜面安定工法

PANWALLとは……

PAN (Panel And Nail) Wall工法は急勾配斜面安定工法の1つである切土補強土工法の理論に基づく工法です。補強材には従来から使用されている鋼棒を用いますが、表面保護工にはモルタル吹付けやコンクリート吹付けの代わりにコンクリート板を用い、現場作業量の低減と意匠デザインの多様化に対応します。

特長

- 1 構造物を上から下へ仕上げながら切り下がる逆巻き施工が基本で、余分な切土や埋め戻し作業が発生せず、土工事量が低減できます。
- 2 掘削断面が最小限で済み、森林、緑地等の周辺環境への影響を少なくできます。
- 3 表面保護工のプレキャスト化により、工期短縮と省力化が可能となります。
- 4 コンクリート板は工場生産のため品質に優れ、表面の意匠も様々に対応ができます。
- 5 高所作業がほとんど発生せず、きわめて安全性の高い工法です。

取扱地域

北海道

東北

関東

中部

北陸

近畿

中国

四国

九州

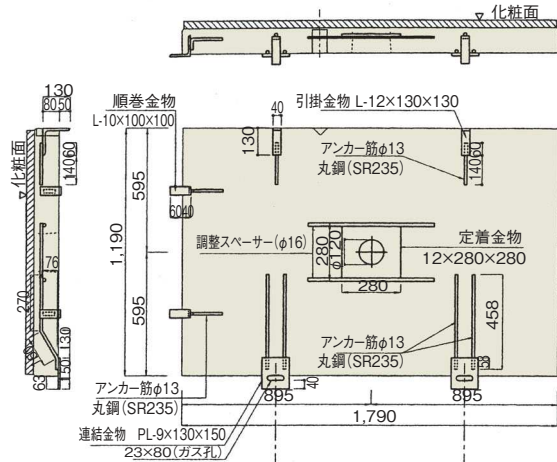
沖縄

※取扱地域が記載されていない地域については、担当営業所 (P572) にお問い合わせください。

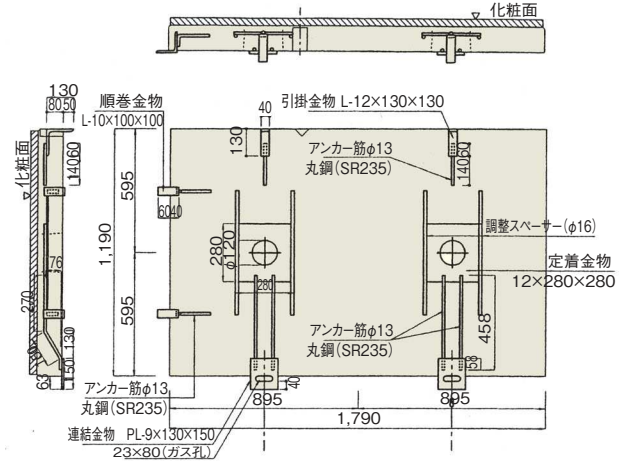
パネル寸法図

(単位:mm)

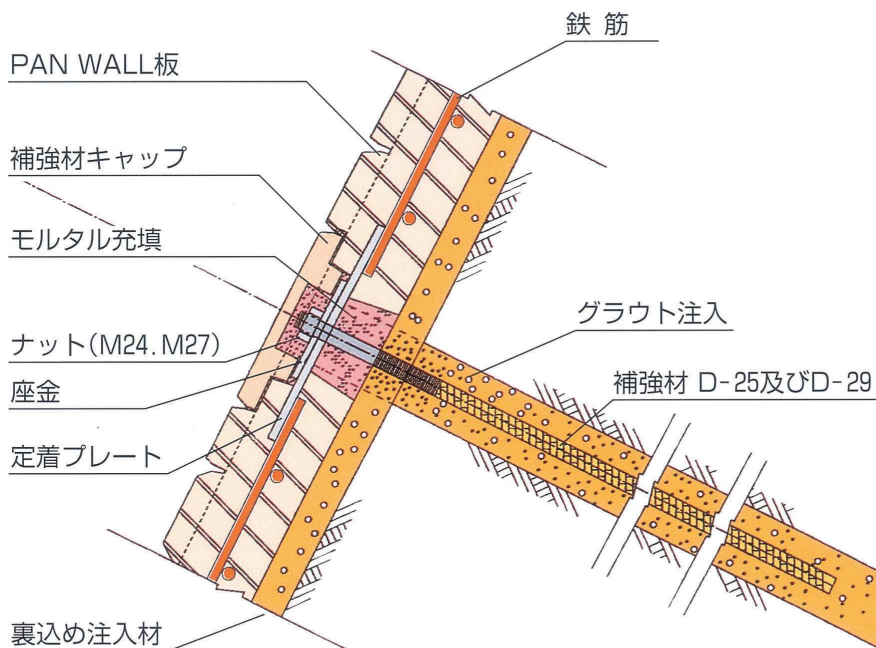
S TYPE (1穴)



D TYPE (2穴)



定着部 (詳細図)



実用新案登録 第3007333号

カルバート・
下水道

擁壁・
法面保護工

道路

高速道路

水路関連

河川・海洋・
環境

貯留・
防災システム

通信関連

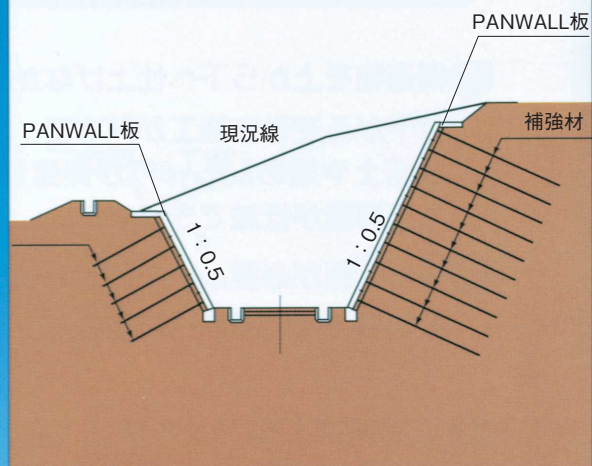
建築・宅造

特殊工法・
新素材

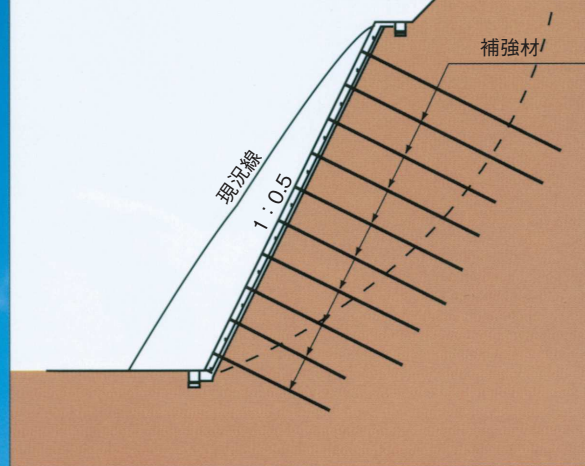
参考資料

主な用途

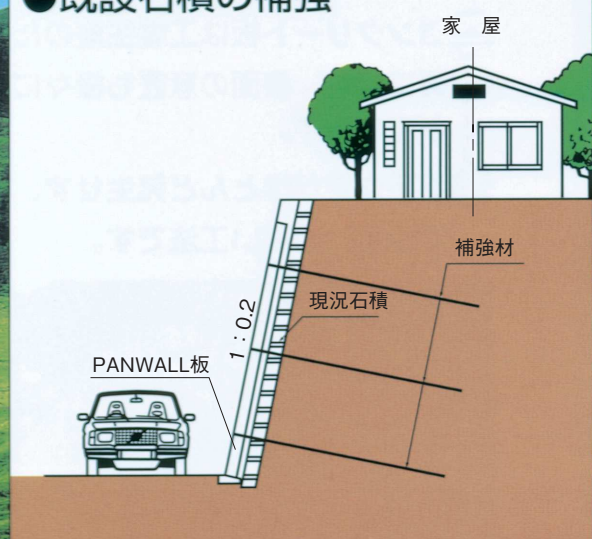
●土留擁壁の代替工法



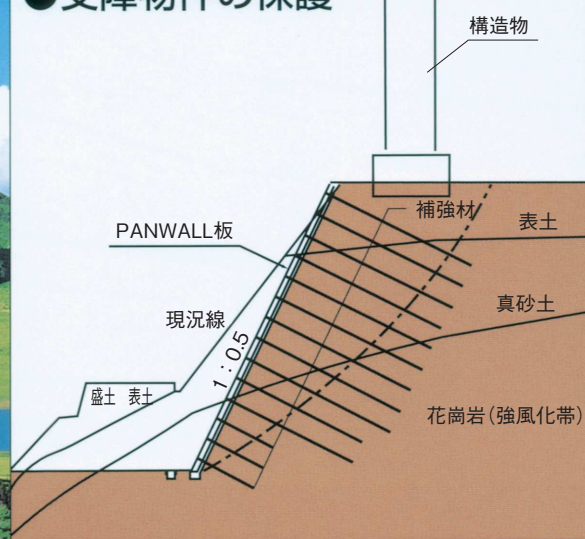
●自然法面の補強



●既設石積の補強



●支障物件の保護



取扱地域

北海道

東北

関東

中部

北陸

近畿

中国

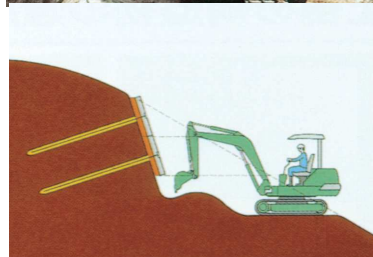
四国

九州

沖縄

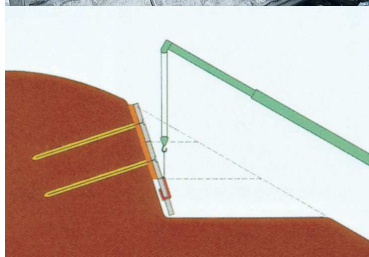
※取扱地域が記載されていない地域については、担当営業所 (P572) にお問い合わせください。

施工手順



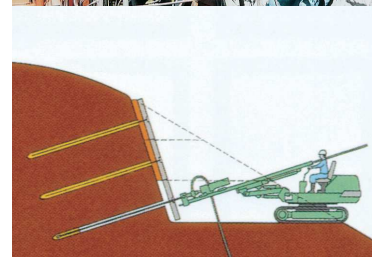
1 掘削・法面整形

バックホーにて、パネル1枚分 (約1.2m~1.3m) 掘削します。その後に透水材をセットします。



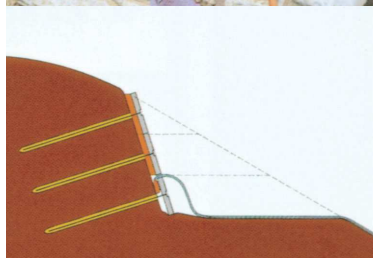
2 コンクリート板据え付

専用の吊具を使用して、所定の位置にコンクリート板をセットします。



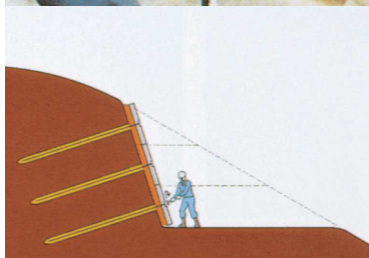
3 補強材打設・グラウト

ロータリーパーカッション等を使用して削孔し、補強材を挿入した後、グラウト注入を行います。



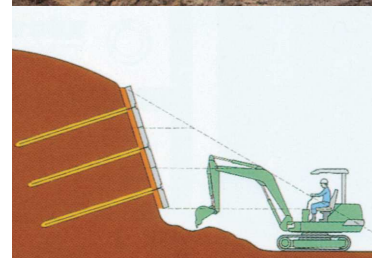
4 裏込め注入

コンクリート板と地山との隙間に、裏込め注入材を注入します。



5 補強材頭部定着

トルク・レンチにより補強材頭部を定着し、その後にキャップを装着します。



6 次段掘削

次段以降は1~5の繰り返し作業となり最終段施工完了後に、埋め戻しコンクリートを施工します。

カルバート・
下水道

擁壁・
法面保護工

道路

高速道路

水路関連

河川・海洋・
環境

貯留・
防災システム

通信関連

建築・宅造

特殊工法・
新素材

参考資料